



# 2024年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社あさくま  
コード番号 7678 URL <https://www.asakuma.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣田 陽一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 西尾 すみ子  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 052-800-7781

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年1月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第1四半期	1,690	19.2	59		60		36	
2023年3月期第1四半期	1,417	23.8	28		23		29	

(注) 包括利益 2024年1月期第1四半期 36百万円 ( %) 2023年3月期第1四半期 29百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第1四半期	6.88	6.87
2023年3月期第1四半期	5.48	

当社は2023年6月29日に開催された第50期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2024年1月期より決算日を3月31日から1月31日に変更いたしました。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第1四半期	3,348	2,408	71.9
2023年3月期	3,307	2,372	71.7

(参考) 自己資本 2024年1月期第1四半期 2,408百万円 2023年3月期 2,372百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年1月期					
2024年1月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,523	20.0	94		97		56		10.61
通期	6,096		174		179		106		19.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2023年6月29日に開催された第50期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2024年1月期より決算日を3月31日から1月31日に変更いたしました。このため通期については増減率は記載していません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年1月期1Q	5,384,070 株	2023年3月期	5,384,070 株
期末自己株式数	2024年1月期1Q	70,629 株	2023年3月期	70,629 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年1月期1Q	5,313,441 株	2023年3月期1Q	5,326,587 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの取組みといたしましては、新型コロナウイルス禍において経費削減を行う中で、生産性向上を進めてまいりました。目指す姿としては、店舗人員を少なくしながらも今までよりも良いサービスを提供し、お客様から「サービスが良くなったね」と言ってもらえることです。しかし、そのためのトレーニングが追いついておらず、店舗のQSCについてのクレームを多くいただくようになってしまいました。これが来店客数の戻りが悪い原因の1つではないかと考え、QSCの改善と、サラダバーの充実に注力してまいりました。

新たな取組みとしまして、商品品質につきましては、月1回のエリア会議時だけではなく、新たに注力店舗を決めて、商品課とエリアマネージャー、店長、ふかかちさん(パート社員)を集め、ステーキやハンバーグ、スープやカレー、サラダバーの仕込み、調理方法のトレーニングと試験を実施し、調理技術のチェックと向上、調理方法、仕入れ先、食材の見直しなどを行いました。課題としては、調理スタッフすべての技術を上げる事、生産性を上げる事です。そのために、店長だけでなく、ふかかちさん(パート社員)も集合教育を行いレベルアップしてまいります。

サービスにつきましては、引き続き、タイムスケジュールのチェックを行い、適正な人員配置を行うことであります。また、サラダバーの補充やお済みの食器類の引き揚げ(パッシング)を最優先事項として取り組むことで、「お客様を待たせない」、「不満足を与えない」を目指して取り組んでおります。その結果、一部の店舗ではまだ不満足の声は頂いておりますが、その数は大きく減りました。課題としましては、適正な人員配置のための人材確保、タイムスケジュール作成のトレーニング、実際に行動すること、1way4job(一つの流れの中で4つの事を行う)を実施するためのトレーニング、チェックと指示出し、です。これらの人材の確保とトレーニングを継続して取り組んでまいります。

サラダバーの充実にしましては、「お客様をびっくりさせる」をテーマに2023年2月より一部店舗において、25品目から45品目にアイテム数を増やして提供しております。こちらの店舗数を更に19店舗増やし、50店舗で実施しています。また、“モツ煮込み”“野菜のトマト煮込み”“白菜のクリーム煮”“麻婆豆腐”などの温かいメニュー「ホットバー」の提供する店舗も9店舗から22店舗へ増やしました。また、自分で作れる体験型デザートコーナーの拡充にも取り組みました。通常の店舗ではソフトクリーム、ワッフル、たい焼き機を置いて自分でデザートを作れるようにしておりますが、更に種類を増やし、綿あめ、かき氷、クレープ、ポップコーン等、普段なかなか体験することのできないデザートを作れて楽しんでもらえるデザートバーコーナー設置店舗も4店舗展開し、今後も店舗を増やしてまいります。

当期におきましては、お客様の流れが劇的に増えてきた今だからこそ、食材コストをかけてでも、お客様にびっくりしてもらい、喜んでもらうお店作りを行ってまいります。

泣かせるあさくまの取組みとしましては、父の日と母の日にお父さんお母さんへお子様から普段言えない“ありがとうの言葉”を手紙に書いてお渡しする。そんな空間を提供することに取り組まれました。この結果、2日間で1,500件以上の“ありがとう”を手紙に書いてお渡しすることができました。まだまだ泣かせることには至っておりませんが、感動できる空間を提供できる“泣かせるあさくま”を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間における店舗展開につきましては、当社グループにおいて出退店を行いませんでしたので、当第1四半期連結会計期間末現在における当社の店舗数は、直営店61店舗にFC店4店舗を加えて65店舗、株式会社あさくまサクセッションの直営店は10店舗(1店舗休業中)で、当社グループの総店舗数は75店舗(FC店4店舗を含む)となっております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高が1,690,638千円(前年同四半期比19.2%増)、営業利益が59,870千円(前年同四半期は営業損失28,265千円)、経常利益が60,361千円(前年同四半期は経常損失23,589千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益が36,535千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失29,168千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて43,412千円増加し、2,233,313千円となりました。主な要因は、売掛金で49,188千円減少したものの、現金及び預金で76,637千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,401千円減少し、1,114,723千円となりました。主な要因は、投資その他の資産で1,325千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて41,011千円増加し、3,348,036千円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8,123千円増加し、749,916千円となりました。主な要因は、株主優待引当金で5,418千円減少したものの、賞与引当金で16,369千円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3,648千円減少し、189,294千円となりました。主な要因は、長期借入金で3,648千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,475千円増加し、939,210千円となりました。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて36,535千円増加し、2,408,826千円となりました。主な要因は利益剰余金で36,535千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は71.9%(前連結会計年度末は71.7%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月期の連結業績予想については、2023年5月30日の「決算期(事業年度の末日)の変更に伴う業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の進捗により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,732,842	1,809,480
売掛金	259,979	210,781
原材料及び貯蔵品	43,392	45,493
未収入金	117,290	128,348
その他	36,395	39,208
流動資産合計	2,189,900	2,233,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	380,094	374,509
その他(純額)	163,791	168,984
有形固定資産合計	543,885	543,493
無形固定資産		
その他	30,505	29,821
無形固定資産合計	30,505	29,821
投資その他の資産		
破産更生債権等	812,892	812,892
差入保証金	464,971	464,843
その他	77,762	76,564
貸倒引当金	△812,892	△812,892
投資その他の資産合計	542,733	541,408
固定資産合計	1,117,124	1,114,723
資産合計	3,307,025	3,348,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	376,817	362,642
1年内返済予定の長期借入金	12,688	14,116
未払法人税等	15,158	23,826
賞与引当金	15,961	32,330
株主優待引当金	19,303	13,884
その他	301,863	303,116
流動負債合計	741,792	749,916
固定負債		
長期借入金	92,512	88,864
資産除去債務	78,230	78,230
その他	22,200	22,200
固定負債合計	192,942	189,294
負債合計	934,734	939,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,531	91,531
資本剰余金	1,711,770	1,711,770
利益剰余金	675,417	711,953
自己株式	△106,429	△106,429
株主資本合計	2,372,290	2,408,826
純資産合計	2,372,290	2,408,826
負債純資産合計	3,307,025	3,348,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,417,917	1,690,638
売上原価	581,669	679,678
売上総利益	836,247	1,010,959
販売費及び一般管理費	864,513	951,089
営業利益又は営業損失(△)	△28,265	59,870
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	4
不動産賃貸料	801	801
助成金収入	1,991	—
その他	3,161	920
営業外収益合計	5,958	1,726
営業外費用		
支払利息	906	674
支払保証料	323	—
その他	51	561
営業外費用合計	1,281	1,235
経常利益又は経常損失(△)	△23,589	60,361
特別利益		
圧縮未決算特別勘定戻入額	13,499	—
特別利益合計	13,499	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	9,900	—
その他	1,800	—
特別損失合計	11,700	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,790	60,361
法人税、住民税及び事業税	7,378	23,826
法人税等合計	7,378	23,826
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,168	36,535
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,168	36,535



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,168	36,535
四半期包括利益	△29,168	36,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,168	36,535

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。